

17-4 現状の情報伝達方法と課題

情報伝達の主な経路は電話回線を利用しています。しかし、水防本部と各水防組織の間を結ぶ情報伝達方法が専用回線となっていないので、水防団の現状把握、活動判断、情報の収集や伝達に時間を要します。

現状での河川状況や水位の把握は、吉野川沿川に設置されている固定カメラや水位計の情報を光ファイバー通信網を通じ、徳島工事事務所や四国地方整備局に集められています。

しかし、その先の徳島県や市町村の水防本部までには専用回線等が無く水防団の現状把握や活動判断、情報の収集や伝達に時間を要しています。

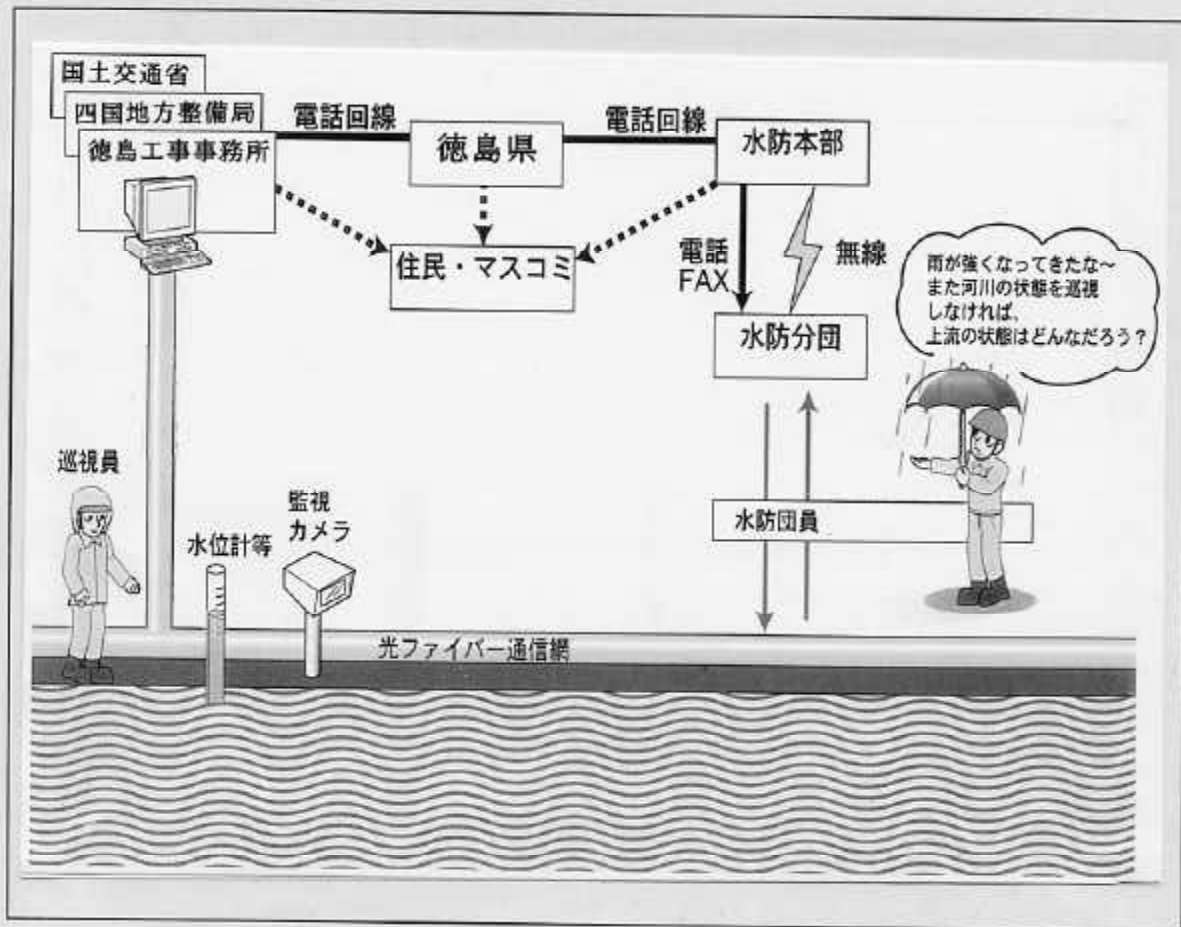


図17-4-1 河川情報伝達の現状

<補足>

平成13年6月1日より、インターネット、iモード携帯電話よりいつでもどこでも、必要な時に河川情報（水位、雨量など）を知ることができます。

インターネット	http://www.river.go.jp
iモード	http://i.river.go.jp